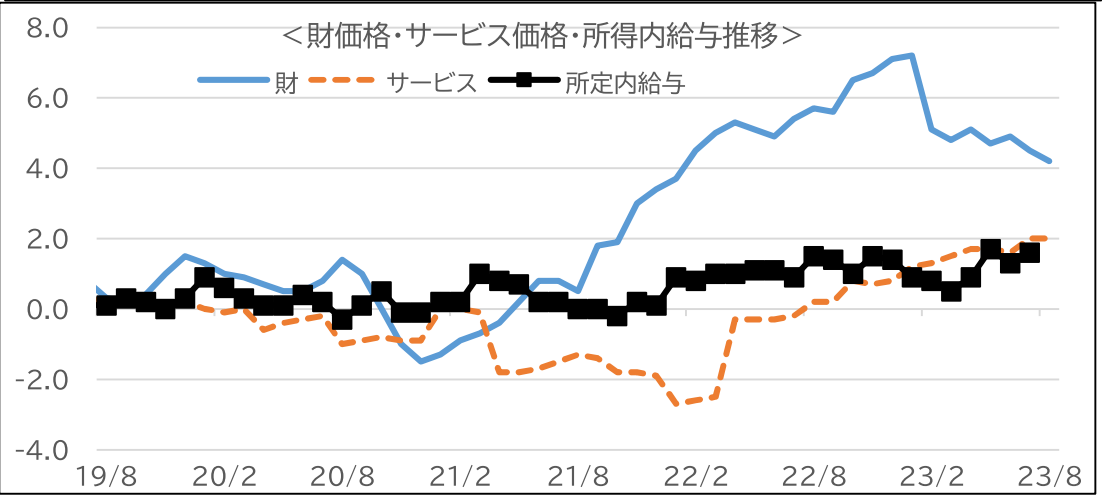
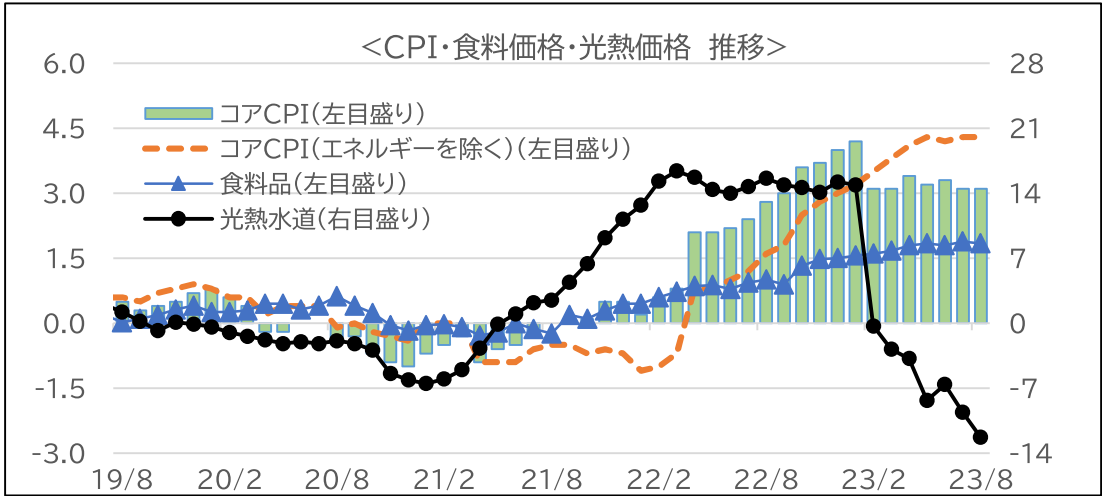


日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾
(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳
8月日本 全国消費者物価指数

2023/9/25 第49号
朝日田コーポレーション
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp
●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:



(資料)総務省資料より作成。
総務省が発表した全国消費者物価指数(生鮮食品を除く) = コア CPI によると、8月は前年同月比で+3.1%と7月(同+3.1%)から横ばいとなった。引き続き、政府による「電気・ガス価格激変緩和対策」の影響により光熱・水道費が大きく低下し押し下げ要因となっている一方、食料や教養娯楽サービス費が物価を押し上げた。今後の消費者物価は、財価格を中心に上昇率は鈍化していこう。但し、足元の原油高や円安の影響から鈍化ペースが緩やかになり、物価の高止まりが継続する可能性がある点には注意を要する。また、緩やかな上昇基調となっているサービス価格の趨勢を占ううえで、賃金動向、特に一時金等の影響を除き賃金の基調を示す「所定内給与」の推移が注目される。